

佐渡における植物観察記録 5

渡辺 洋子

- ルイヨウショウマ *Actaea asiatica* H.Hara きんぼうげ科
 国見山 450m: 写真1(2006 11 13)[5738-04-00]
 過去に北見(1963)によりドンデン、野田(1968)により金北山の記録があり、昨年関の山中のものを報告した(渡辺2006)が、さらに小佐渡の分布を記録する。但し、確認時が11月半ばで、すでに果実も葉も落ちて、果軸が残存していた。
- ホザキノフサモ *Myriophyllum spicatum* L. ありのとうぐさ科
 畑野諏訪 60m: 写真2(1999 9 23),('06 IS-411801 Photo 060802-73-77)[5638-73-72]
 野田(1968)により国府川の記録があるが、畑野のため池で繁茂しているのを確認した。県(VU)の絶滅危惧種である。
- イヌセンブリ *Swertia tosaensis* Makino りんどう科
 秋津飛行場 20m: 写真3 (1999 10 18)[5738-03-63]
 新穂新穂ダム 100m: 写真4 (2009 11 3)[5738-03-06]
 北見(1963)の記録に小泊、梅津が、野田(1968)の金井千種の記録がある。近年では、秋津飛行場(7年前)、新穂ダム(伊藤邦男氏による)で確認したので、その写真を掲載する。本種は環境庁(VU),新潟県(VU)の絶滅危惧種である。
- キセワタ *Leonurus macronthus* Maxim. しそ科
 元小木 20m: 写真5(2006 8 26)[5638-52-71]
 北見(1963)により乙和池、和木、羽茂新倉に、県植物分布図集第19集に弾野、大野亀、乙和池、長谷、小倉第2ダムの記録があるが、上記元小木の分布を追加する。環境庁(VU),県(VU)の絶滅危惧種である。
- ヒメヨツバムグラ *Galium gracilens* (A.Gray)Makino あかね科
 真野竹田 60m:写真6・7 ('06 IS- 2006 7 9,Photo 060718-21)[5638-73-60]
 北見(1963)により羽茂小泊に記録がある(未確認)が、新潟県植物分布図集の第6集では佐渡の標本がなく、記録されていない。2006年に小佐渡の分布を追加する。県内では稀産で、県RDBでは、地域個体群(LP)である。
- ナベナ *Dipsacus japonicus* Miq. まつむしそう科
 新穂大野 24m: 写真8 (2006 8 28),IS-413278('06)[5738-73-66]
 北見(1963)により矢柄に、野田(1968)により畑野松ヶ崎に、また、県植物分布図集第10集に畑野河内の記録がある。上記の分布を追加する。県(VU)の絶滅危惧種である。
- ヤナギスブタ *Blyxa japonica* (Miq.)Maxim. ex Asch.et Gurke とちかがみ科
 両津秋津樹崎 5 m: 写真9 (1999 9 30)[5738-03-74]
 畑野諏訪 : ('06 IS- 2006 9 21)[5638-73-72]
 北見(1963)により金沢村・水津村・下横山の記録があるが、近年の分布を記録する。本種は新潟県(VU)の絶滅危惧種である。
- ホッスモ *Najas graminea* Del. いばらも科
 金井大和唐崎堤 52m:写真10 ('06 IS-413330,Photo 3641-13A・16A・17A)[5738-03-40]
 畑野栗之江廃田 80m: (2006 9 8)[5638-73-93]
 野田(1963)により水津に記録があるが、上記2ヶ所を追加する。

イトトリゲモ *Najas japonica* Nakai

いばらも科

金井大和唐崎堤 52m:写真11 ('06 IS-413331,Photo 3641-11A・12A・15A) [5738-03-40]

県RDBに佐渡の記録があるものの、分布の情報が明確でなかったので、上記産地を追加する。本種は環境庁(EN)、県(EN)の絶滅危惧種である。

イヌイ *Juncus yokoscensis* (Franch.et Sav.)Satake

いぐさ科

真野経塚山 480m: 写真12(2006 9 8 IS-414225) [5638-73-11]

牧野植物図鑑に「北海道、本州北・中部の海岸に近い湿った砂地に生える」と記され、佐渡でも相川入川、真野西三川、羽茂亀脇、両津願など海岸に見られる。県(VU)の絶滅危惧種である。

この生育地は、ミズゴケ類の繁茂する山中の湿地帯であり、他にコイヌノハナヒゲ、ヤマテキリスゲ、イトイヌノヒゲ、また、モウセンゴケ、ミズオトギリ、エゾリンドウ、ホソバナヨツバムグラ等と混生している。

イトイヌノヒゲ *Eriocaulon decemflorum* Maxim.

ほしくさ科

真野経塚山 480m: 写真13(2006 9 8),('06 IS- 2006 9 8) [5638-73-11]

両津河崎河崎川上流廃田 100m: ('06 IS-409994) [5738-03-58]

加茂村の記録がある(北見 1965)が、上記2ヶ所を追加する。

ヒメミクリ *Sparganium stenophyllum* Maxim.

みくり科

金井大和唐崎堤 52m: 写真14(2006 7 6),('06 IS-414227・414228) [5738-03-40]

北見(1963)により乙和池浮島に記録があるが、上記2ヶ所目の産地を記録する。堤の水際に僅かに生育している。環境庁(VU)、県(VU)の絶滅危惧種である。

ヒメガマ *Typha angustifolia* L.

がま科

沢根鶴子 120m: 写真15(1999 8 6) [5738-02-21]

佐渡の植物誌に未記載で追加。

コイヌノハナヒゲ *Rhynchospora fujiana* Makino

かやつりぐさ科

真野経塚山 480m:写真16(2006 9 8),('06 IS- 2006 9 8) [5638-73-11]

県植物分布図集第2集に県西部と佐渡の資料を欠くとしているが、島内で分布を確認したので、記録する。

参考文献

本間建一郎(2002) 佐渡島の植物(羊歯・種子植物) 新津植物資料室

伊藤邦男(1995) 佐渡の花 春夏秋

北見秀夫(1963) 佐渡博物館研究報告第五集

野田光蔵(1988) 越後の植物誌 I(1968)、II(1969)、III(1969)

新潟県植物分布図集 第2集(1981)、第6集(1985)、第8集(1987)、第9集(1988)、第19集(1999)

渡辺洋子(2006) 新津植物資料室年報 2005

[編者註]

分布資料の掲載記録略称 IS:石沢 進の標本番号; Photo:石沢撮影写真で渡辺洋子氏による提供標本あるいは現地案内で収集した資料を示す。

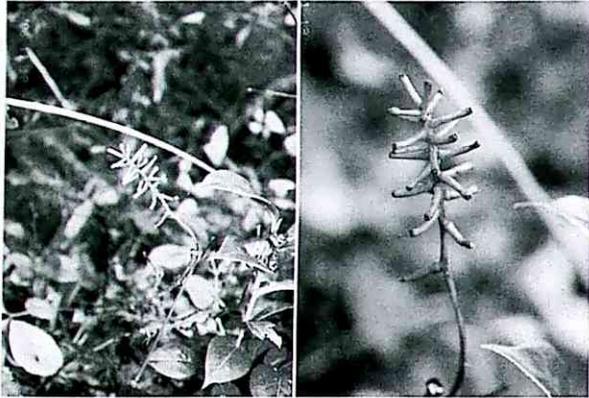


写真1 ルイヨウショウマ 国見山 450m(2006 11 13)

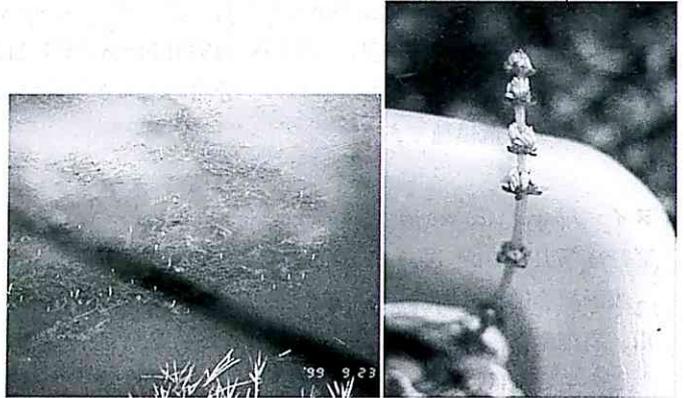


写真2 ホザキノフサモ 畑野諏訪 60m (1999 9 23)

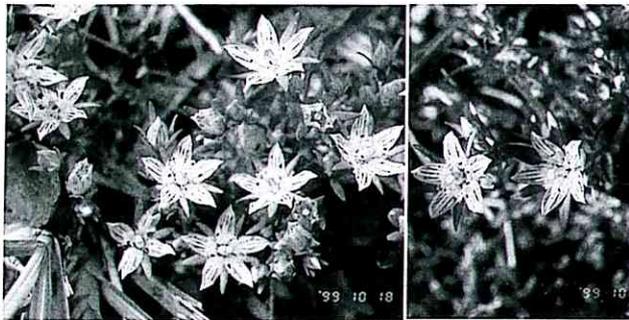


写真3 イヌセンブリ 秋津飛行場 20m (1999 10 18)

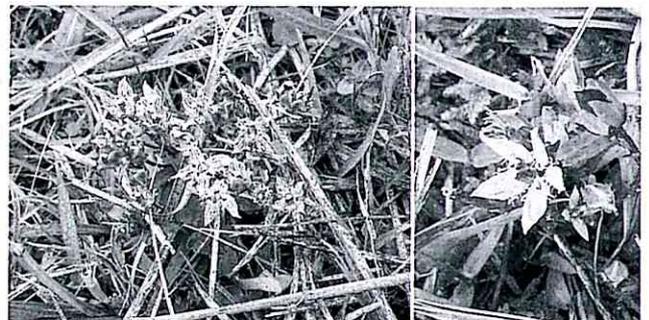


写真4 イヌセンブリ 新穂新穂ダム 100m (2009 11 3)



写真5 キセワタ 元小木 20m (2006 8 26)



写真6 ヒメヨツバムグラ 真野竹田 60m (2006 7 18:IS)

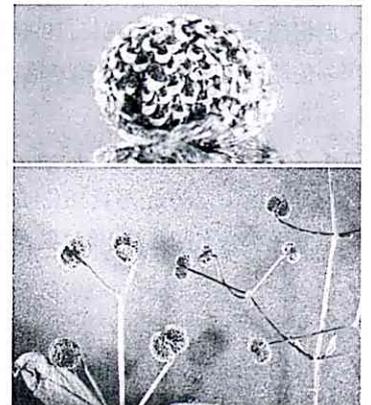


写真7 ヒメヨツバムグラ(標本から) 真野竹田 60m(2006 7 18:IS) 上:果実表面 (×63で撮影)、 下:左下の果序は ヨツバムグラ

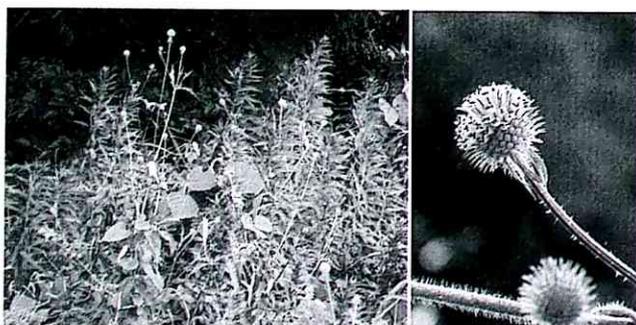


写真8 ナベナ 新穂大野 55m (2006 8 28)



写真9 ヤナギスツタ 両津秋津樹崎 5m (1999 9 30)

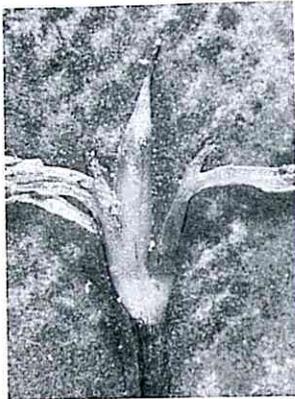


写真10 ホッスモ
金井大和唐崎堤 52m
(2006 9 23:IS)

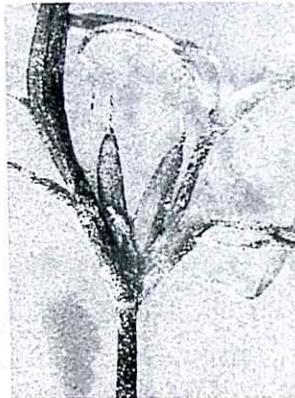


写真11 イトリゲモ
金井大和唐崎堤 52m
(2006 9 23:IS)

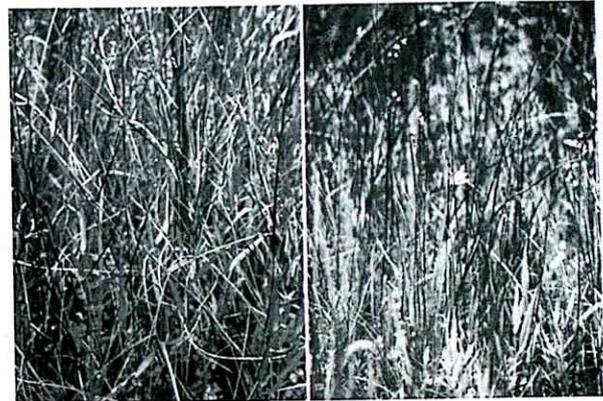


写真12 イヌイ 真野経塚山 480m (2006 9 8)



写真13 イトイヌノヒゲ
真野経塚山 480m
(2006 9 8)



写真14 ヒメミクリ 金井大和唐崎堤 52m (2006 7 6)



写真15 ヒメガマ 沢根鶴子
(1999 8 6)

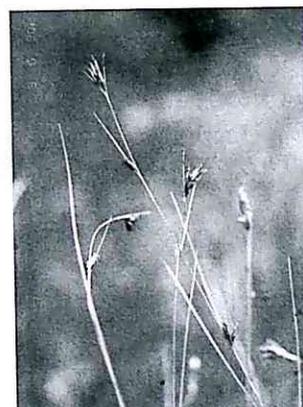


写真16 コイヌノハナヒゲ 真野経塚山 480m(2006 9 8)